

A「なにもさあさ節」 小野貫六編 1955『内潟村史』内潟村

「次ぎに隣村十三を歌詞にした盆唄で賑やかにうたわれた「なにもさあさ節が衆和で文句の尻担き(「しりかつき」あとの句を衆和する)して唄い、珍しいものだから載せて置きたい(このうたは、中里以南は唄つていなかった。)」

歌題	音頭	衆和	
1 十三の街道	1 おや十三の街道はあ はあはい上街道や	十三の街道上街道や	十三の街道上街道やあさい
	2 おや石コねいばはあ はあはい上街道や	石コねいば上街道や	石コねいば上街道やあさい
2 十三の長兵衛	1 おや十三の長兵衛はあ はあはい腹病んだや	十三の長兵工腹病んだ	十三の長兵工腹病んだ
	2 おや何を食うてはあ はあはい腹病んだや	何を食うて腹病んだや	何を食うて腹病んだやあさい
	3 ほそめ(昆布の類)食うてはあ はあはい腹病んだや	ほそめ食うて腹病んだや	ほそめ食うて腹病んだやあさい
	4 おやこんどかあらはあ はあはいかせめあしや	こんどかあらかせめあしや	こんどかあらかせめあしやあさい
	5 かせめあしあしあ	やいのやれこのさいどな	よいよいのよいとこな 何もさあさあもうさとやあ

B「中里盆歌」 成田末五郎編 1965『中里町誌』中里町

「これは相内村の坊さま踊りの歌詞の変形と思はれる。」

歌題	音頭	大衆	
3 朝日でた	1 オヤ朝日でたハーオーハーハーでて来た	やよによるこばしヤイ	やよによるこばしヤアサイ
	2 アやよによるこぶデア	ヤレノヤレコノサイトナ	ヨイヨイノヨイトコナ
	3 ナニモサーサモーストヤーサイ		何モサーサモーストヤーサイ
4 木造どこだよ	1 オヤ木造ハーオーハーハーどこだよ	木造どこだよ	木造どこだヤーサイ
	2 オヤ芦沼のハーオーハーハー影だよ	芦沼の影だヤイ	芦沼の影だヤーサイ
	3 オヤ影でなあいであハーオーハーハー西だよ	影でないよ西だよ	影でないよ西だヤーサイ
	4 オヤ西の岳ハーオーハーハーお山よ	西の岳お山よ	西の岳お山ヤーサイ
	5 オヤお山このハーオーハーハーすゝきよ	お山このすゝきよ	お山このすゝきヤーサイ
	6 オヤ糸のよなハーオーハーハーすゝきよ	糸のよなすゝきヤイ	糸のよなすゝきヤーサイ
5 はばきちょし	7 オヤはばきちょしはハーオーハーハーよしかるやい	はばきちょによしかるやい	はばきちょしによがるヤーサイ
	8 アそれこそよがる	ヤレノヤレコノサートナ	ヨイヨイノヨイトコナ

9 ナニモサーサモーサトヤーサイ

何モサーサモーサトヤーサイ

6 盆の十三日

- 1 盆のナハーオーハーハー十三日
- 2 ホゲヤになハトオーハーハーあづきめし
- 3 アそれなハハーオーハーハーほとげさま
- 4 アやよによるこぶ
- 5 ナニモサーサモーサトヤーサイ

- ホゲヤシエの晩ゲダヤイ
- やよに豆もやしヤイ
- やよによるこぶぐあよ
- ヤレノヤレコノサートナ

- ホゲシュの晩ゲタヤーサイ
- やよに豆もやしヤーサイ
- やよによるこぶであヤーサイ
- ヨイヨイノヨイトコナ
- 何モサーサモーサトヤーサイ

\*相内「坊様踊り」・十三「砂山踊り」・小泊「いやさが盆踊り」・稲垣「盆踊り歌（中里盆歌）」に類似に類似

7 小泊名所

- 1 名所ナハーオーハーハー名所だよ
- 2 出船ナハーオーハーハー入船
- 3 アヤレみな名所
- 4 ナニモサトサモーサトヤーサイ

- 小泊名所だヤイ
- やよに皆名所だヤイ
- ヤレノヤレコノサートナ

- 小泊メーショだヤーサイ
- やよに皆名所だヤーサイ
- ヨイヨイノヨイトコナ
- 何モサーサモーサトヤーサイ

2 十三の長兵衛

- 1 オヤチョサノ長兵エハーハーハーハラダヨ
- 2 オヤ何をクーテハーオーハーハーハラダヤイ
- 3 オヤ細芽くてハーオーハーハーハラダイヤイ
- 4 アア磯物あたる
- 5 ナニモサーサモーサトヤーサイ

- チョサノ長兵衛ハラダヨ
- 何をくてハラダイ
- 細芽クテハラダイセイ
- ヤレノヤレコノサートナ

- チョサノ長兵衛ハラダヤーサイ
- 何をくてハラダヤーサイ
- 細芽クテハラダヤーサイ
- ヨイヨイノヨイトコサ
- 何モサーサモーサトヤーサイ

1 十三の街道

- 1 オヤ十三の街道ハーオー街道ヤ
- 2 オヤ石こねげなハーオーハーハー上街道ヤイ
- 3 アア石こねば上街道
- 4 何モサーサモーサトヤーサイ

- 十三の街道上街道ヤイ
- 石こねば上街道ヤイ
- ヤレヤレコノサイトナ

- 十三の街道上街道ヤーサイ
- 石こねけおよ街道ヤーサイ
- ヨイヨイノヨイトコナ
- 何モサーサモーサトヤーサイ

8 岳の白雪

- 1 岳のナハーオーハーハー白雪
- 2 とけてナハーオーハーハー流れて
- 3 吉田のナハーオーハーハー川の水
- 4 ハヤレ化粧の水
- 5 何モサーサモーサイトヤーサイ

- 朝日でとけるヤイ
- 吉田の川さヤイ
- やよにけしよの水ヤイ
- ヤレノヤレコノサイトナ

- 朝日でとけるヤーサイ
- 吉田の川さヤーサイ
- やよに化粧の水ヤーサイ
- ヨイヨイノヨイトコナ
- ナニモサーサモーサトヤーサイ

9 オシゲモリ煙草	1 オヤオシゲモリハーオーハーハー煙草ヤイ 2 オヤノミノヨイハーオーハーハー煙草ヤイ 3 オヤ色コまでハーオーハーハー真赤だヤ 4 アア色マカソーマカ 5 ナニモサーサモーストヤーサイ	オシゲモリ煙草ヤイ ノミノヨイたばこヤイ 色コまでまっかだヤイ ヤレノヤレコノサトナ	オシゲモリタバコヤーサイ ノミノヨイタバコヤーサイ 色コまでまっかだヤーサイ ヨイヨイノヨイトコナ 何モサーサモーストヤーサイ	
10 大川平の坊主	1 オヤ大川平のハーオーハーハーセガズ坊主 2 六十ナハーオートハーハー六ヶ国 3 ナヤ楽だよでハーオーハーハーこわいよ 4 アアそれまたこわいであ 5 何モサーサモーストヤーサイ	オイコショテマロルヤイ オイラショテ廻たヤイ 楽だよでこわい ヤレノヤレコノサートナ	オイヲショテ廻るヤーサイ オイショテ廻ったヤーサイ らくだよでこわいヤーサイ ヨイヨイヨイトコナ 何モサーサモーストヤーサイ	
11 チョチョズ (オオヨシキリ)	1 チョチョズナハーオーハーハーカラカラズ 2 土用もナハーハーハーいかぬに 3 やよにくちとまた 4 何モサーサモトサトヤーサイ	やよに口とまたや やよに口とまったヤイ ヤレノヤレコノサイトナ	やよにくちとまたヤーサイ やよにくちとまったヤーサイ ヨイヨイノヨイトコナ 何モサーサモーストヤーサイ	* 相内「坊様踊り」に類似
12 寺の上灯籠	1 テラの上ハーオーハーハーあげトーロ 2 ハあがれば下る 3 ナニモサーサモーストヤーサイ	上るよで下るヤイ ヤレノヤレコノサイトナ	上るよで下るヤーサイ ヨイヨイノヨイトコナ 何モサーサモーストヤーサイ	* 相内「坊様踊り」・小泊「盆踊り歌」に類似
13 板留どこだや	1 オヤお板留ナハーオーハーハーどこだや 2 オヤがおしやかのハーオーハーハー下だよ 3 アアそれまた下だ 4 ナニモサーサモーストヤーサイ	板留どこだヤイ かむしゃかの下だよ ヤレノヤレコノサイトナ	お板留どこだヤーサイ かむしゃかの下だヤーサイ ヨイヨイノヨイトコナ 何モサーサモーストヤーサイ	

C なにもささ保存会 『中里盆歌なにもささ(何喪裳々)』 / 青森県教育委員会 1979 『盆踊りと盆踊り歌』

歌題	音頭取		下語取
3 朝日でた	1 オヤ朝日でたハーオーハーハー出て来た 2 アやよによるこぶであ	やよによるこばしヤイ ヤレノヤレコノサートナ	やよによるこばしヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ

	3 ナニモサーサモーストヤイ		ナニモサーサモーストヤーサイ	
8 岳の白雪	1 岳のナハーオーハーハー白雪 2 とけてナハーオーハーハー流れて 3 吉田のナハーオーハーハー川の水 4 アやよ化粧の水 5 ナニモサーサモーストヤイ	朝日でとけるヤイ 吉田の川さヤイ やよに化粧の水ヤイ ヤレノヤレコノサートナ	朝日でとけるヤーサイ 吉田の川さヤーサイ やよに化粧の水ヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモーストヤーサイ	
11 チョチョズ (オオヨシキリ)	1 チョチョズナハーオーハーハーカラカラズ 2 土用もナハーオーハーハーゆかぬに 3 やよに口とまた 4 ナニモサーサモーストヤイ	やよに口とまたヤイ やよに口とまたヤイ ヤレノヤレコノサートナ	やよに口とまたヤーサイ やよに口とまたヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモーストヤーサイ	
10 大川平の坊主	1 大川平のハーオーハーハーせがず坊主 2 六十ナハーオーハーハー六ヶ国 3 オヤ楽だよでハーオーハーハーこわいよ 4 アそれまたこわいであ 5 ナニモサーサモーストヤイ	オイコシヨテまわるヤイ オイコシヨテまわたヤイ 楽だよでこわいヤイ ヤレノヤレコノサートナ	オイコシヨテまわるヤーサイ オイコシヨテまわたヤーサイ 楽だよでこわいヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモーストヤーサイ	
6 盆の十三日	1 盆のナハーオーハーハー十三日 2 ホゲヤにナハーオーハーハーあづきめし 3 それでナハーオーハーハー仏様 4 アやよによるこぶ 5 ナニモサーサモーストヤイ	ホゲヤシュの晩ゲだヤイ やよに豆もやしヤイ やよによるこぶであヤイ ヤレノヤレコノサートナ	ホゲヤシュの晩ゲだヤーサイ やよに豆もやしヤーサイ やよによるこぶであヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモーストヤーサイ	
14 寺の和尚様	1 寺のナハーオーハーハー和尚様コ 2 赤くナハーオーハーハーならぬに 3 アやよに落とされる 4 ナニモサーサモーストヤイ	日陰のスモモヤイ やよに落とされるヤイ ヤレノヤレコノサートナ	日陰のスモモヤーサイ やよに落とされるヤーサイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモーストヤーサイ	* 相内「坊様踊り」・小泊「小泊盆歌」に類似

12 寺の上灯籠	1 寺のナハ－オーハ－ハ－あげトロコ 2 アあがればさがる 3 ナニモサーサモ－サトヤイ	あがるよでさがる ヤレノヤレコノサートナ	あがるよでさがるヤ－サイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモ－サトヤ－サイ	
15 百になる婆様	1 オヤ百になるハ－オーハ－ハ－ばばさまに 2 オヤねずみとれハ－オーハ－ハ－とれとれと 3 オヤ爪コねばハ－オーハ－ハ－ならぬや 4 オヤジャンバラくぎハ－オーハ－ハ－まげてや 5 アそれもてかちゃげ 6 ナニモサーサモ－サトヤイ	ネゴの皮きせたヤイ ねずみとれとれとヤイ 爪コねばならぬヤイ ジャンバラくぎまげてヤイ ヤレノヤレコノサートナ	ネゴの皮きせたヤ－サイ ねずみとれとれとヤ－サイ 爪コねばならぬヤ－サイ ジャンバラくぎまげてヤ－サイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモ－サトヤ－サイ	
16 盆が来たとして	1 盆がナハ－オーハ－ハ－来たとして 2 盆のナハ－オーハ－ハ－みそ萩 3 ア親だと思へ 4 ナニモサーサモ－サトヤイ	我が親こねであヤイ 親だと思へヤイ ヤレノヤレコノサートナ	我が親こねであヤ－サイ 親だと思へヤ－サイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモ－サトヤ－サイ	*相内「坊様踊り」・十三「砂山踊り」・脇元「盆歌（ネ工節）」・稲垣「盆踊り歌（中里盆歌）」・車力「盆踊り歌」に類似
17 十三の街道ばた	1 オヤ十三のナハ－オーハ－ハ－街道ばたさ 2 オヤ十七、八ハ－オーハ－ハ－もんじょくねいであ 3 アもった親もじょいであ 4 ナニモサーサモ－サトヤイ	十七、八死んでらヤイ もった親もじょいであヤイ ヤレノヤレコノサートナ	十七、八死んでらヤ－サイ もった親もじょいであヤ－サイ ヨイヨイのヨイトコナ ナニモサーサモ－サトヤ－サイ	*相内「坊様踊り」・脇元「イヤサカ節」に類似

\*参考 相内「坊様踊り(ナオハイ節)」

歌題	上音頭	下音頭
	(浜唄)	
1 盆の十三日	1 盆の十三日ほがいする晩だ 2 あずきこわめし豆もやし そりゃ豆もやし	アーイヤサカ ドッコイショ ほがいしするのは豆もやし アーイヤサカ ドッコイショ
2 盆が来たとして	1 盆が来たとしてわが親来ない 2 盆のみそはぎのわが親だ	アーイヤサカ ドッコイショ アーイヤサカ ドッコイショ

(本唄)

3 寺の和尚様

- 1 寺のナーオハイ ハオハイ和尚様
- 2 日陰の李ヤ
- 3 赤くナーオハイ ハオイならねに
- 4 ヤーヨネ落ちたがるヤ
- 5 ヤリヤ落ちたがるヤアレノ
- 6 ナーニモ サーサ 坊様ヤイ

ヤレコノサレトナ

アーイヤサカ ドッコイシヨ  
日陰の李ヤーサイ  
アーイヤサカ ドッコイシヨ  
ヤヨネ落ちたがるヤーサイ  
ヨイヨイノ ヨイテモナイ  
ナーニモ サーサ 坊様ヤイ

4 月の夜

- 1 今夜の月の夜は、何時もより白いてヤ
- 2 向かいの山で 鋤ふも親爺
- 3 こわけりゃ休め けらコ敷いて休めやり
- 4 お玉ヤッサ お玉家コ 何処だヤッサ

御座てや

(以下略)

5 十三の街道ばた

- 1 十三街道さ 十七・八死でら
- 2 十七・八もんじゃくねでア 産た親もじょいでア

6 寺の石地藏

- 1 寺の前の石地藏 めらし背負って逃げた
- 2 何処まで逃げた 大阪まで逃げた
- 3 大阪人形は 顔ばかり

7 寺の上灯籠

- 1 寺のあげ燈籠 亡者の為めだ
- 2 上げで下ろせば 寺のため

8 家コの父親

- 1 どだば家コの父親 雨降る中に
- 2 笠もかぶらねで けらコも着ねで

9 村のはじめコ

- 1 村のはじめコさ 十七・八死でだ
- 2 十七ア もじょくねエヤ 下のものア もじょい
- 3 もじょいたて もじょくねで

- 4 あの位エ もじょいもの 俺見たごとアねものが  
 5 もじょいたて 何もじょいたて  
 6 夫の気持コ まだもじょい

- 10 江差山の井戸水 1 江差山の上で 井戸水飲めば  
 2 七十年寄も 若くなる

- 1 盆の十三日 1 盆の十三日ア ほげする晩げだ  
 2 小豆こわめし 豆もやし

- 2 盆が来たとして 1 盆が来たとして わが親来ない  
 2 盆の味噌はぎ わが親だ

- 11 チョチョズ 1 チョチョズ カラカジどして口止まる  
 2 土用が来たので 口止まる

- 12 盆にお出でよ 1 盆にお出よ 他国にいても  
 2 死んだ仏も 会いに来る

- 13 今夜のお月様 1 今夜のお月さま 踊り場抱いた  
 2 月の抱かれて 皆踊れ

\*参考 十三「砂山踊り」

歌題	上音頭
1	十三の砂山米ならよかる 西の辨財衆にただ積みましょう
2	さあさ出た出た もろこし船よ 波にゆられて そよそよと
3	笠を忘れた敦賀屋の宿さ 西が曇れば 思い出す
4	つつじ椿は山でこそ咲くが 今は十三のともに咲く
5	沖の暗いのは蟹田のあらし おやじ帆をまけ舵をとれ

6 盆の十三日 盆と七月ア一度に御座る 小豆にこわ飯豆もやし  
7 此処で踊れば庄屋殿ア叱る 庄屋も若い時ア踊たベアね  
8 盆が来たとして 我が親来ない 盆の味噌萩アわしア親だ  
9 とんと豆腐売ア橋から落ちた 揚げてくんだせ油売り  
10 船は小さくとも權の口ないとも 陸さ上がれば一の客  
11 十三出る時ア涙で出ても 尾崎かわせば先ア急ぐ  
12 大島小島の間通る船は 江差通いかなつかしや  
13 磯の小泊情けの下前 思い脇元 気は十三  
14 十三の水口に錠鍵あったら 可愛いあの船 出しめエもの  
15 十三の米のなか錠はいらぬ 好きなあの子に繋がる  
16 船を押せ押せ押せねば行かぬ 押せば権現崎ア近くなる  
17 踊りおどりたし此の子は泣ぐし 此の子泣かせて踊らりよか  
18 名所名所と十三名所 出船入船 そりゃ名所  
19 白い浴衣に錨とかいて 質においても流れアせぬ  
20 今宵一夜は船底枕 あすは出船で波枕  
21 踊り最中短冊投げた それを取る人アわが女房  
22 江差山の上の 井戸の水飲めば 七十年寄りも若くなる  
23 佐渡の扇の間の今朝見た女郎は 雨も降らぬに袖しぼる  
24 十三の港に錠鍵あったら あけて入りゃんせ幡磨船  
25 十三の港は入り良うて まとも巻き良うて かかり良うて  
26 揃た揃たと踊り子揃った 稲の出穂より尚そろた  
27 今夜のお月様青山だいて 私もだきたや十七・八